

平成23年度 アクションプログラムの取組事例

No. 2

取組名	網走東部流域における民有林と国有林の森林施業技術交流会
流域名	網走東部
森林管理署等	網走中部森林管理署、網走南部森林管理署
実施日	平成23年11月29日
実施内容	<p>網走東部流域では、流域内の民有林と国有林関係者が道有林や国有林のフィールド等で、双方の森林施業技術の向上や流域管理システムの推進を図ること等を目的に、平成11年度から道有林と国有林（網走中部署、網走南部署）が交互に当番制で森林施業技術交流会を開催しています。</p> <p>平成23年度は網走中部森林管理署が主催し、関係者21名が参加し、ワッカ原生花園（2300林班）において、イタチハギ等外来植物駆除の取組み概要を説明を行い意見交換等を実施しました。</p> <p>その後、幌加川木製魚道工を実施した治山ダム（2265林班）を見学し、工事の概要、施工実施の経緯、カラフトマス等の遡上結果について説明を行い意見交換等を実施しました。</p>
反響等	活発な意見交換が行われており、民有林（道有林関係者）との連携強化を図ることができました。

参考資料

○木製魚道工箇所（網走中部森林管理署管内2265林班）での交流会風景

